

「授精しなければとまらない “失敗した後悔より、しない後悔の方が大きい”」

「授精しなければとまらない（妊娠しない）」という言葉は、当たり前のことのようであるが、今一度かみしめる言葉でもある。良い発情ばかりを授精して、少し悪い発情を流している授精師もいる。物事の結果を自分ながらに推測し、その推測の元に何も行動しない事がある。何も行動しなければ、結果は思ったようには絶対にならない。おそらく後悔という結果だけが生じ得る。

“失敗した後悔より、しない後悔の方が大きい”という言葉もある。

物事の結果を恐れて、何も行動しない。無理と自ら判断して、行動しない。確率が低くとも、発情であれば授精をすべきであろう。授精をしなければ100%妊娠はしない。“囊腫ぽい”から授精をしない。“囊腫ぽい”は授精をすれば受胎する事もある。これは現実の出来事である。

それでは授精をする、授精をしないは、何処で線引きをすればよいのであろうか？
明確な線引きは判りません。経験と知恵で決めていくしかありません。

繁殖を考える上で重要なことは、受胎率ではなく、妊娠率です。

具体的な数字を挙げて“受胎率と妊娠率”の考え方の違いを説明します。今妊娠させなくてはいけぬ乳牛を100頭飼っているとします。100頭の内30頭の牛に人工授精をしました。非常に調子がよく、30頭人工授精をした牛がすべて妊娠しました。この時30頭授精し30頭妊娠したので、受胎率は100%となります。受胎率100%というのは素晴らしく良い成績です。ここで問題点は受胎させなくてはいけぬ乳牛を100頭飼っていますが、残りの70頭はどうなるのでしょうか。受胎率は100%であったのに、まだ70頭も受胎させなくてはいけぬ牛が残っています。

受胎率というのは授精をした牛の頭数が分母となり、妊娠した牛が分子となって計算されます。従って現在何頭を飼っているかということは問題となりません。一方妊娠率は、現在飼っている頭数の内何頭が妊娠したかということを考えます。現在100頭飼っている内、100頭を授精し50頭妊娠したとします。先ほどの計算の例でいうと、この時の受胎率は50%となります。受胎率50%で、50頭の妊娠牛が得られました。先の例では受胎率100%で30頭の妊娠牛が得られました。どちらが多く酪農経営に貢献するのでしょうか。

$$\begin{aligned} \text{受胎率}\% &= \frac{\text{妊娠牛頭数}}{\text{人工授精頭数}} \times 100 & \text{妊娠率}\% &= \frac{\text{妊娠頭数}}{\text{妊娠させたい頭数}} \times 100 \\ \text{妊娠率}\% &= (\text{発情発見率}\%) \frac{\text{人工授精頭数}}{\text{妊娠させたい頭数}} \times \frac{\text{妊娠頭数}}{\text{人工授精頭数}} (\text{受胎率}\%) \end{aligned}$$

妊娠率は何頭を捕まえて人工授精をしたかの数字（発情発見率）と、人工授精した内の何頭が妊娠したかという受胎率をかけて出します。この例では100頭の発情を発見し、人工授精したので発情発見率は100%、一方受胎率は50頭妊娠したので50%です。妊娠率を計算すると $100\% \times 50\% = 50\%$ となります。先の例では発情発見率が30%、受胎率が100%です。妊娠率を計算すると $30\% \times 100\% = 30\%$ となります。

この例題では先の方は受胎率100%、後の方は受胎率50%です。現実的に受胎率を考えると、どちらの方に現実味があるでしょうか。受胎率100%を常に維持することはかなり困難です。酪農現場での現実的な話としては受胎率を上げることはなかなか困難です。発情発見率を上げるのは、本人のやる気とちょっとした工夫で可能になる事です。

表は受胎率と発情発見率の数字を掛け合わせたものです。どのくらいが現実的な数字でしょうか

発情発見率	受胎率	20	30	40	50	60	70	80	90	100
10	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10
20	4	6	8	10	12	14	16	18	20	20
30	6	9	12	15	18	21	24	27	30	30
40	8	12	16	20	24	28	32	36	40	40
50	10	15	20	25	30	35	40	45	50	50
60	12	18	24	30	36	42	48	54	60	60
70	14	21	28	35	42	49	56	63	70	70
80	16	24	32	40	48	56	64	72	80	80
90	18	27	36	45	54	63	72	81	90	90
100	20	30	40	50	60	70	80	90	100	100